



新しい年がスタートしました。大学入試、真っ只中です。3年生の先輩方、頑張ってください。

寒い日が続きますが、風邪に気をつけて元気に過ごしたいですね。

コロナ禍でなかなかボランティアに出かけることができませんが、寄付のお願いをしたいと思います。

○書き損じハガキや未使用のハガキ、切手、テレホンカードご寄付のお願い

年賀状、暑中見舞い、官製ハガキの書き損じや余ったハガキ・切手で、いずれも郵便局の消印の押されていない未使用のものや、未使用のテレホンカードが対象です。

広島県視覚障害者団体連合会では集めたハガキや切手、テレホンカードを交換または換金して下記に示す視覚障害者の福祉事業の活動資金に役立てています。ご協力よろしく申し上げます。

☆広島県視覚障害者団体連合会の主な事業☆

- 1 視覚障害者の自立更生と社会参加の促進事業の実施
- 2 重度・重複の障害者支援施設「愛命園」の充実
- 3 視覚障害者の情報提供施設「視覚障害者情報センター」の充実
- 4 視覚障害者に盲導犬貸与の支援
- 5 視覚障害者団体育成の支援
- 6 視覚障害者のためのボランティアの養成と支援



盲導犬は、「身体障害者補助犬法」（平成14年10月施行）に基づいて認定された犬で、特別な訓練をうけています。ですから公共施設や交通機関をはじめ、飲食店やスーパー、ホテルなど様々な場所に同伴することができます。視覚障害者にとっては大切なパートナーです。

盲導犬育成や点字や翻訳ができるボランティアを要請するための費用にあてています。

○3年生のみなさん、今年度は体操服と体育館シューズの回収はありません。

美鈴が丘高校では、毎年、3年生の皆さんから不要になった体操服と体育館シューズを回収して、次年度発展途上国へ送る活動をしていました。

体操服は広島浄心院を通じてHJV活動の一環としてモンゴルに送っていました。他校の回収品と合わせて1年間で約90kgの衣料を送りました。昭和59年から始まったHJV活動では、累計総数約62,138kg（バス1台分）にもなるそうです。しかし、モンゴルも物資が足りてきて、衣料の回収が必要でなくなりました。今までご協力いただきありがとうございました。

体育館シューズは、ISPの会主催のフレンドリーブリッジプロジェクトに参加することで、発展途上国へ靴を送っていました。今年で16年目を迎えるこの事業は、ガンビア・ルワンダ・ペルーの3か国に送られる予定でしたが、コロナ禍の影響で、現在まだ国際小包が発送できずにいるそうです。あすなろ会で洗った昨年度のシューズがまだ学校に保管されたままになっています。そこで今年の体育館シューズの回収はしないことにしました。また、状況が変わり発送されるようになったら、回収のお願いをいたします。ありがとうございました。

